

2020年4月8日

あすか山訪問看護ステーションの皆様

統括所長 平原優美

あすか山訪問看護ステーションの職員に陽性者が出た際の対応

毎日、緊張や焦燥感を感じる状況で、皆様には通勤方法の変更、直行直帰等感染予防にご協力いただき、ありがとうございます。関東圏域、特に東京都では周知のとおり非特定感染者が増加しており、いざという時の備えは必要かと思えます。そこで、利用者・家族、関係職種に陽性者が出た場合と職員の中から感染者が出た場合の、あすか山訪問看護ステーションの対応をお知らせします。

I. 職員以外に感染者が出た場合

1. 利用者・家族、関係者にコロナウイルス感染陽性者が公表された

- ① 陽性者と接した A 職員（看護師、リハ職、ケアマネジャー、相談支援員、看護補助者）は感染したと想定し、即時、管理者 平原、荒木、滝井いずれかと接触した日時以降の詳細な接触者を明らかにする。
- ② A 職員とその家族、接触者調査により判明した職員とその家族はいずれも自宅待機する。
- ③ A 職員の所属ステーションのすべての職員は自宅待機する。
- ④ 別のステーション職員が、ケア必要度が高い利用者（すでに一覧を作成し、適宜更新している）に訪問看護を実施する。

2. 陽性者と接触した A 職員が陽性と判明した

- ① A 職員の所属ステーションを封鎖し、職員全員、自宅待機し検温など体調に注意する。保健所から消毒施工予定。
- ② 神谷・赤羽サテライト両訪問看護ステーション事業を 2週間停止する。
- ③ 全職員とその家族は自宅待機する。

3. 通常業務に戻る

II. 職員から感染者が出た場合

1. 体調を崩し、管理者報告した後自宅待機する

- ① 全職員が自覚症状や発熱があると管理者に報告し、自宅待機し、家族とは隔離された部屋で生活し、食事などは家族と別にし、入浴も最後にする。
- ② 基礎疾患等ない場合は発熱が4日継続し症状が悪化していく場合は、保健所に電話

- し、紹介された病院を受診する。
- ③ 管理者 平原、荒木、滝井いずれかと接触した日時以降の詳細な接触者を明らかにする。

2. 検査結果で陽性と判明した

- ① 所属ステーション全職員と家族は自宅待機し、外部の人と一切接触しない。
- ② 接触者とその家族は検査をうける。
- ③ 別のステーション職員が、ケア必要度が高い利用者（すでに一覧を作成し、適宜更新している）に訪問看護を実施する。
- ④ 別のステーション職員も毎日検温し、体調に注意する。
- ⑤ 関係機関に感染者がでたこと、2 週間の事業停止のお知らせを郵送し地域に周知する。

3. 2週間後所属ステーション事業再開

- ① 感染職員以外の所属ステーション職員は体調に異常がなければ通常業務に戻る。
- ② 感染職員は家族とともに陰性になり医師の許可後復帰する。
- ③ 地域の関係機関に事業再開のお知らせをする。

3. 通常業務に戻る

以上、「あすか山訪問看護ステーションにおける新型インフルエンザ等発生時における訪問看護・居宅介護支援・相談支援事業継続計画」に追記したいと思います。